

HIKVISION



温度測定バイスペクトル ネットワーク 測位システム

クイック スタート ガイド

UD02521B

Made in China

www.hikvision.com

クイック スタート ガイド

COPYRIGHT ©2016 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

無断複写転載等を禁ず。

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社（以下、「Hikvision」とする）の所有するものとします。本ユーザー マニュアル（以下、「本マニュアル」とする）は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。特に規定されていない限り、Hikvision は明示的にせよ黙示的にせよ本マニュアルに関して一切の補償、保証または表明を行わないものとします。

本マニュアルについて

本マニュアルは、温度測定パイスペクトル ネットワーク測位システムに適応しています。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとします。当社 Web サイトで最新版を参照してください (<http://overseas.hikvision.com/en/>)。

専門の技術者の指導の下で本ユーザー マニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

HIKVISION およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、様々な裁判管轄地域においても Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

法的免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる誤謬やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示、黙示を問わず一切の保証（商品性、十分な品質、特定の目的の適合性および第三者の権利非侵害を含むがそれだけに限定されない）を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、たとえ HIKVISION がそれらについて通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

インターネット アクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティ リスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するように利用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

規制情報

FCC 情報

FCC 準拠:本装置は連邦通信委員会 (FCC) 規則第 15 条の基準に基づくクラス A デジタル機器です。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書に従って取り付けおよび使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザー側の負担で干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. この機器は、想定外の動作を引き起こす可能性のあるものも含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

EU 適合宣言



本製品および、該当する場合、付属品は、“CE” のマークが付いており、EMC 指令 2014/30/EU、RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令):この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。より詳細な情報については以下をご確認ください。www.recyclethis.info



2006/66/EC (バッテリー指令):本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置は CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A) 基準要件を満たしています。

安全上の指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。

注意事項は**警告**と**注意**に分かれています。

警告:これらの警告を無視した場合、深刻な負傷または死亡の危険性があります。

注意:これらの注意を無視した場合、負傷または装置の損傷の危険性があります。

	
警告 重傷や死亡を防ぐために、これらの安全対策に従ってください。	注意 ケガや物損の可能性を抑えるために、これらの注意に従ってください。



警告

- 電気的な操作はすべてお住いの地域の電気保安規制、防火規制、その他の関連規制に厳格に従う必要があります。
- 電源アダプターは一般の企業が提供しているものを利用してください。電源アダプターの規格に関しては製品仕様書を参照してください。消費電力は必要値を下回ってはいけません。
- 1 つの電源アダプターに複数のデバイスを接続しないでください。過負荷によりオーバーヒートあるいは火災の危険があります。
- 測位システムを接続、取付または除去する前に、電源が切断されていることを確認してください。
- 製品を壁または天井に取り付ける場合、デバイスをしっかりと固定する必要があります。
- デバイスから煙や異臭、騒音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービス センターにご連絡ください。
- 製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービス センターに連絡してください。測位システムは、絶対にご自分で分解しようとししないでください。(承認されていない修理や保守行為による問題について、弊社はいかなる責任も負いません。)
- 6 メートル以内の距離でレーザー光を直接見ないようにしてください。レーザーは人体に危険です。



注意

- 測位システムを落下させたり、物理的衝撃を与えないでください。強度の電磁放射にさらさないようにしてください。装置を振動面や衝撃が加わりやすい場所に取り付けることは避けてください (無視すると装置が損傷することがあります)。

温度測定ネットワーク測位システム・クイックスタートガイド

- 測位システムは極端な高温・低温の場所、粉塵の多い場所、または湿った場所に置くと火災や感電の危険がありますので、こうした場所には置かないでください。動作温度に関しては製品仕様書を参照してください。
- 屋内用の測位システム カバーは雨や湿気にさらさないようにしてください。
- 装置を直射日光にさらしたり、換気の悪い場所、ヒーターやラジエーターなどの熱源にさらすことは禁止されています（無視すると火災の危険があります）。
- 測位システムを太陽や極端に明るい場所に向けないでください。焦点ボケや不鮮明化が起こる可能性があります（動作不良ではありません）、またセンサーの寿命に影響する可能性があります。
- 測位システム カバーを開けるときは同梱の手袋を利用して、測位システムカバーに直接触れることは避けてください。指の汗は酸性で、測位システムカバーの表面のコーティングが侵食される可能性があります。
- 測位システム カバーの内側と外側の表面の清掃には柔らかく乾いた布を用いてください。アルカリ洗剤は使わないでください。
- 将来利用できるように梱包材は開梱後も保存しておいてください。何か障害があった場合、測位システムを工場に返送する際には元々の梱包材を使う必要があります。元々の梱包材以外を使った場合、測位システムが損傷し、追加費用が発生する可能性があります。

目次

1 準備	7
2 取付	8
2.1 測位システム寸法	8
2.2 ケーブルの説明	9
2.3 アラーム入力/出力の接続.....	10
2.4 測位システムの取付	11
2.4.1 モニタリング距離範囲.....	11
2.4.2 配線	12
2.4.3 メモリー カードの取付.....	12
2.4.4 測位システムの取付.....	13
2.4.5 取付の終了	14
3 LAN 経由でのシステムの設定	15
3.1 配線.....	15
3.2 システムのアクティベート	15
3.2.1 Web ブラウザ経由のアクティベーション.....	16
3.2.2 SADP ソフトウェア経由のアクティベーション.....	16
3.3 IP アドレスの変更	17
4 Web ブラウザ経由のアクセス	19

1 準備

基本要件

- 電気的な操作はすべてお住いの地域の電気保安規制、防火規制、その他の関連規制に厳格に従う必要があります。
- パッケージの中身をチェックし、パッケージの中の機器の状態と、すべての組み立て部品が含まれていることを確認してください。
- 作業環境要件に従ってシステムを使用してください。

取付環境のチェック

- 測位システムと備品の取付に十分なスペースがあることを確認してください。
- 壁面には、システムとマウントの重量の 8 倍の重量に耐えられる十分な強度があることを確認してください。

ケーブルの準備

- 実際のネットワークの帯域幅では、Cat5 (100M) または Cat6 (100M を超える場合) が必要です。
- 測位システムが標準 24 AC V の電源を使用する場合、電源ケーブルは米国ワイヤゲージ規格 18 以上である必要があります。断面図 $S(\text{mm}^2)$ および裸線の最大伝送距離 $L(\text{m})$ は、 $L=50*S$ で計算されます。
- 伝送長さにあわせてビデオ ケーブルを選択してください。ビデオケーブルは、次の最小要件を満たす必要があります。インピーダンス : 75Ω; 100% 銅製芯線; 95% 銅網線シールド。
- RS485 通信ケーブル、付録 2 を参照してください
- 24V AC 電源ケーブル、付録 3 を参照してください

工具の準備

- 取付前に、拡張ねじ、電気ハンマ、電気ドリル、レンチ、ドライバ、マルチメーター、ネットワーク ケーブルなどの工具を準備してください。

オリジナル パッケージ

- 測位システムを開梱する際には、オリジナルのパッケージを適切に保存してください。測位システムを返品または修理する場合に測位システムをパッケージに梱包することができます。

注意:オリジナル パッケージ以外を使用して搬送した場合は、ユーザーは引き起こされたあらゆる損害に責任を負う必要があります。

2 取付

2.1 測位システム寸法

温度測定測位システムの概観および寸法に関しては次の図参照してください。

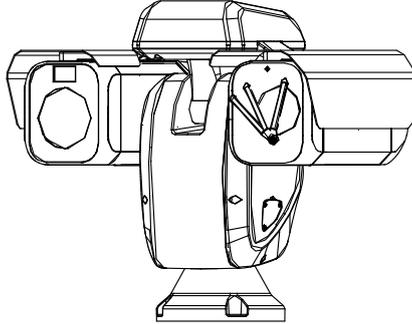


図 2-1 温度測定測位システム概観

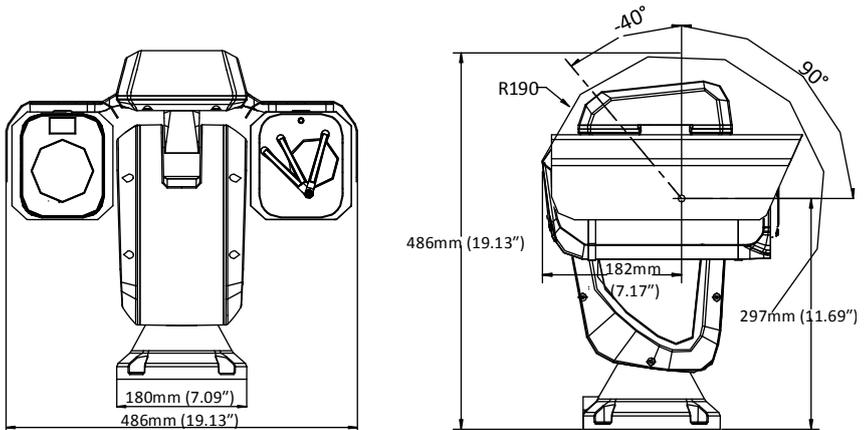


図 2-2 温度測定測位システム寸法(1)

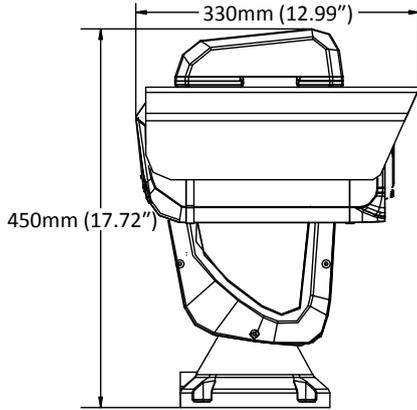


図 2-3 温度測定測位システム寸法(2)

2.2 ケーブルの説明

測位システムのケーブル インターフェイスについては、図 2-4 をご覧ください。RS-485、電源、アラーム入力、アラーム出力などのケーブルは、色で識別されます。ケーブルに付けられたラベルを見て識別してください。

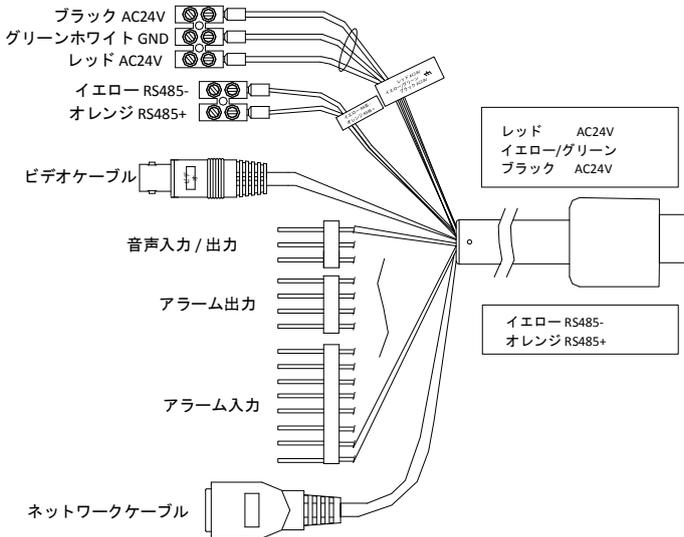


図 2-4 その他の測位システムのケーブル

2.3 アラーム入力/出力の接続



このセクションは、アラーム入出力機能を備えた測位システムについてのみ適用されます。

測位システムはアラーム入力 (0~5V DC) およびアラーム出力に接続できます。アラーム出力については以下の図を参照してください。

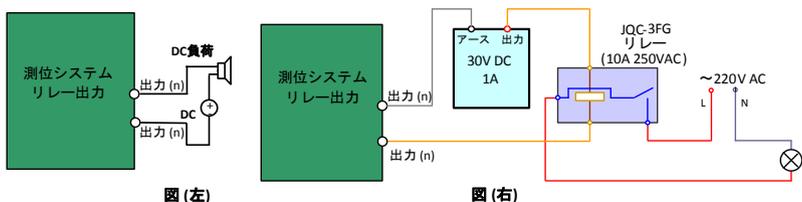


図 2-5 アラーム出力の接続

アラームから提供されるリレー出力には電圧が加わっていないので、アラームデバイスに接続する場合には外部電源が必要になります。

- DC 電源 (左図) の場合、入力電圧は 30V DC、1A 以下でなければなりません。
- AC 電源の場合、測位システムの損傷を防ぎ、感電の危険性を避けるため、外部リレーを使う必要があります (右図)。

2.4 測位システムの取付

2.4.1 モニタリング距離範囲

電気レンズは測位システムの温度計のチャンネルに使用されます。これはオートフォーカス機能およびリモートフォーカス機能をサポートします。次表に、各種焦点距離のレンズにおけるモニタリング範囲を示します。

表 2-1 モニタリング範囲 (ピクセル間隔:17um)

レンズ焦点距離/mm	25	50	75
ミリラド	0.68	0.34	0.23
検出範囲 (車両)/m	2255	4510	6765
検出範囲 (人体)/m	735	1471	2206
認識範囲 (車両)/m	564	1127	1691
認識範囲 (人体)/m	184	368	551
識別範囲 (車両)/m	282	564	846
識別範囲 (人体)/m	92	184	276

表 2-2 モニタリング範囲 (ピクセル間隔:25um)

レンズ焦点距離/mm	25	50	75
ミリラド	1.00	0.50	0.33
検出範囲 (車両)/m	1533	3067	4600
検出範囲 (人体)/m	500	1000	1500
認識範囲 (車両)/m	383	767	1150
認識範囲 (人体)/m	125	250	375
識別範囲 (車両)/m	192	383	575
識別範囲 (人体)/m	63	125	188



- この表は単なる参考資料とお考えください。実際の検出範囲は、様々なカメラ設定、実装条件、モニターなどによって変わる場合があります。
- 晴天で、大気中の視界が正常な場合、目標の検知/認識/特定の可能性は 50%です。

- 人体の幅は 0.5m (人体の幅は 0.75m を超えることはない) として推定されます。人体の高さは 1.8m と仮定されます。また、車幅は 2.3m を超過することはありません。

2.4.2 配線

配線する際は、測位システムの取付環境や場所を考慮に入れてください。安定した電力供給と信号伝送を確実に供給するために、次のルールに厳密に従ってください。

- 配線前に、配線距離、配線環境、磁界干渉の遮断などの取付環境を把握しておいてください。
- ケーブルの定格電圧が、デバイスが必要とする電圧より高いことを確認してください。すると、電圧が不安定になってもデバイスは通常の動作が可能になります。
- 割込ライン接続を回避してください。
- デバイスの接続には継ぎ目のない一本のケーブルを使用するようお勧めします。継ぎ目のないケーブルを使用しない場合、回路の経年変化によってデバイスが異常動作しないように、2本のケーブル間の継ぎ目に強化対策や保護対策を行う必要があります。
- ビデオ ケーブルおよび信号伝送ケーブルが適切に保護されることを確認してください。さらに、配線中には強化対策や保護対策に注意を払ってください。
- ケーブルが極端に長すぎたり、引っ張られていないことを確認してください。

通常、配線はプロの技術者が作業することになっています。その上で、デバイスが通常作動しない場合は、上記の情報をチェックして原因を探してください。

2.4.3 メモリー カードの取付

方法:

1. 十字ドライバーで測位システムの右側のメモリーカード カバーを開きます。
2. 図 2-6 のように、カチッと音がするまで、カード スロットにメモリーカードを挿入してください。

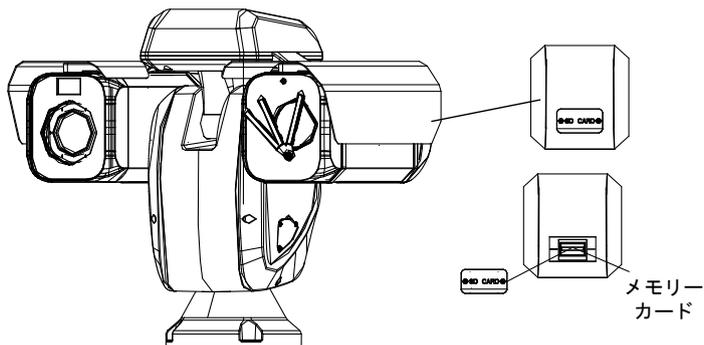


図 2-6 メモリー カードの取付

3. メモリ カード スロットのカバーを閉じ、2 本のネジを締めてください。

2.4.4 測位システムの取付

方法:

1. 下図に示したように、ベース寸法に従ってブラケットにネジ穴を 4 つ開けてください。

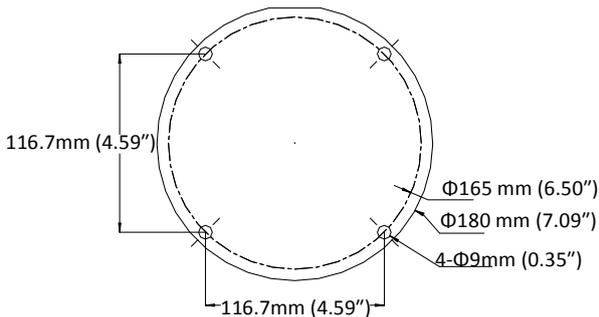


図 2-7 ベース寸法

2. 図 2-8 に示したように、ブラケット ベースに測位システムを固定してください。



ブラケット ベースのネジ穴にネジ山が切っていない場合は、ナットをロックしてください。

ネジの長さは 30mm、ネジの直径は 8mm の必要があります。

ブラケット ベースの厚さは最低 5mm 必要です。

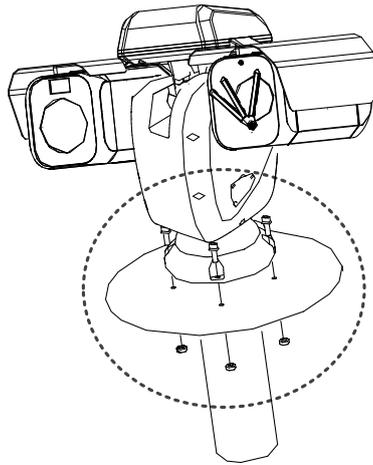


図 2-8 測位システムの取付

3. 対応する必要なケーブル接続して、電源を入れてください。システム機能 (ライブ ビューやコントロール操作など) が、通常に作動することを確認してください。

2.4.5 取付の終了

対応するケーブルを接続して、電源を入れてください。システムのセルフテストが自動的に行われます。ライブ ビュー イメージおよび PTZ コントロールが正常に作動することを確認して、取付を終了します。

3 LAN 経由でのシステムの設定



- インターネット アクセスでの製品の使用は、ネットワークのセキュリティリスクがあることを承諾することになります。ネットワーク攻撃や情報漏えいを回避するには、ご自身の保護対策を強化してください。製品が正常に動作しない場合、販売店やお近くのサービスセンターにご連絡ください。
- 測位システムのネットワークセキュリティを確保するために、測位システムの定期的な確認と点検をお勧めします。前記サービスが必要な場合には弊社までご連絡ください。

3.1 配線

システムを LAN (ローカル エリア ネットワーク) 経由で閲覧・設定するためには、ネットワークシステムをお使いの PC と同じサブネットに接続する必要があります。その上で、SADP ソフトウェアもしくはクライアントソフトウェアをインストールし、ネットワークシステムの IP を検索して変更します。

以下の図に、ネットワークシステムのケーブル接続方法を示しました。

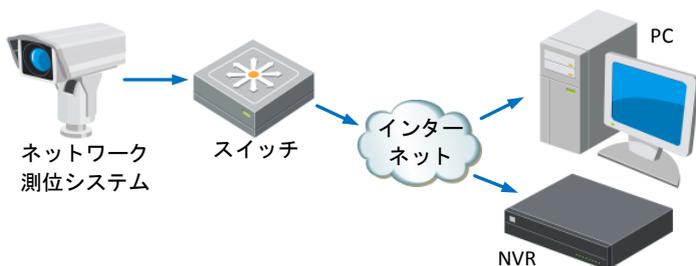


図 3-1 LAN 経由のケーブル接続

3.2 システムのアクティベート

目的:

システムを使い始める前に、まず強力なパスワードを設定してカメラをアクティベートする必要があります。

Web ブラウザ経由のアクティベーション、SADP 経由のアクティベーションおよびクライアントソフトウェア経由のアクティベーションがサポートされています。以下のセクションでは、Web ブラウザおよび SADP 経由のアクティベーションを例とします。クライアントソフトウェア経由のアクティベーションの詳細については、システムのユーザーマニュアルをご参照ください。

3.2.1 Web ブラウザ経由のアクティベーション

方法:

1. カメラの電源をオンにし、システムをネットワークに接続します。
2. Web ブラウザのアドレス バーに IP アドレスを入力し、[Enter] キーを押してアクティベーション インターフェイスに入ります。



システムのデフォルト IP アドレスは 192.168.1.64 です。

図 3-2 アクティベーション インターフェイス (Web)

3. 新しくパスワードを作り、パスワード フィールドに入力します。



強力なパスワード推奨 – 製品のセキュリティ向上のために、ご自身で選択した強力なパスワード (最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含む) を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

4. パスワードを確認します。
5. [OK] をクリックしてシステムをアクティベートし、ライブ ビュー インターフェイスに進みます。

3.2.2 SADP ソフトウェア経由のアクティベーション

SADP ソフトウェアは、オンライン デバイスの検知、デバイスのアクティベートおよびパスワードのリセットに利用します。

SADP ソフトウェアを付属のディスクまたは公式の Web サイトから入手し、プロンプトに従って SADP をインストールします。手順に従い、システムをアクティベートします。

方法:

1. SADP ソフトウェアを実行し、オンライン デバイスを検索します。
2. デバイス リストからデバイス ステータスをチェックし、非アクティブ状態のデバイスを選択します。

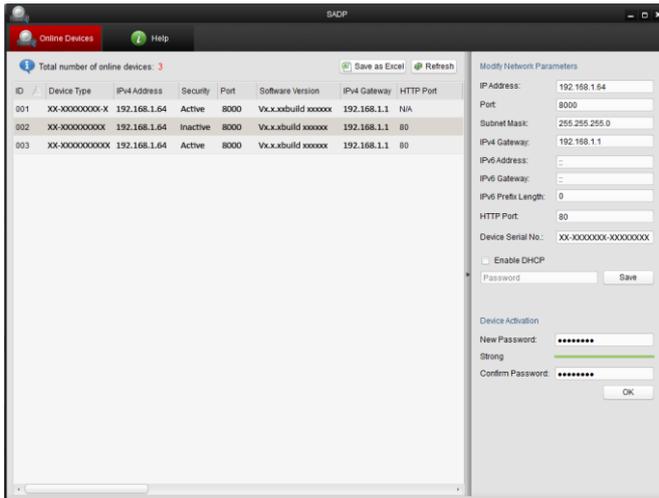


図 3-3 SADP インターフェイス

3. パスワード フィールドに新たなパスワードを入力して、パスワードを確認します。



強力なパスワード推奨 – 製品のセキュリティ向上のために、ご自身で選択した強力なパスワード (最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含む) を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

4. [OK] をクリックしてパスワードを保存します。
ポップアップ ウィンドウからアクティベーションが完了したかを確認することができます。アクティベーションに失敗した場合、パスワードが必要条件に適合していることを確認して再試行してください。

3.3 IP アドレスの変更

目的:

システムを LAN (ローカル エリア ネットワーク) 経由で閲覧・設定するためには、ネットワーク システムをお使いの PC と同じサブネットに接続する必要があります。その上で、SADP ソフトウェアもしくはクライアント ソフトウェアをインストールし、ネットワーク システムの IP を検索して変更します。ここでは、SADP ソフトウェア経由での IP アドレス変更を例に取り上げて、IP アドレス変更の説明いたします。

方法:

1. SADP ソフトウェアを実行します。
2. クリックしてアクティブ デバイスを選択します。



測位システムがアクティブでない場合、セクション 3.2 を参照して、アクティベートしてください。

3. デバイスの IP アドレスをお使いのコンピューターと同じサブネットにするには、IP アドレスを手動で変更するか、[DHCP を有効化する] のチェックボックスをチェックしてください。

図 3-4 IP アドレスの変更

4. パスワードを入力して **[保存]** をクリックし、IP アドレスの変更を有効化してください。

4 Web ブラウザ経由のアクセス

システム要件：

オペレーティング システム:Microsoft Windows XP SP1 またはそれ以上のバージョン/Vista/Win7/Server 2003/Server 2008 32 ビット版

CPU:Intel Pentium IV 3.0 GHz またはそれ以上

RAM:1G またはそれ以上

ディスプレイ:解像度 1024×768 またはそれ以上

Web ブラウザ:Internet Explorer 7.0 以上のバージョン、Apple Safari 5.02 以上のバージョン、Mozilla Firefox 5 以上のバージョンおよび Google Chrome8 以上のバージョン

方法:

1. Web ブラウザを開きます。
2. ブラウザのアドレス バーにネットワーク測位システムの IP アドレス (例: 192.168.1.64) を入力し、[Enter] キーを押してログイン インターフェイスに進みます。
3. 測位システムを初めて利用する際にアクティベートを行う場合、セクション3.2 システムのアクティベートを参照してください。

4. ユーザー名とパスワードを入力し、 をクリックします。
管理ユーザーはデバイスのアカウントおよびユーザー/オペレータの権限を適切に設定する必要があります。必要のないアカウントおよびユーザー/オペレータ権限は削除してください。



管理ユーザーがパスワード入力に 7 回失敗するとデバイスの IP アドレスはロックされます (ユーザー/オペレータの場合、5 回)。

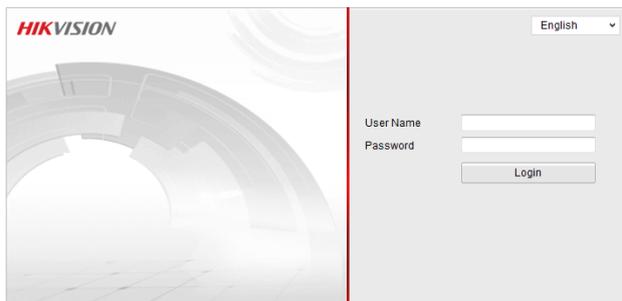


図 4-1 ログイン インターフェイス

5. プラグインをインストールした後で、ライブ ビデオの閲覧やネットワーク測位システムの管理を行ってください。インストールの指示に従い、プラグインをインストールします。



プラグインのインストールを完了するために Web ブラウザを閉じなければなりません。

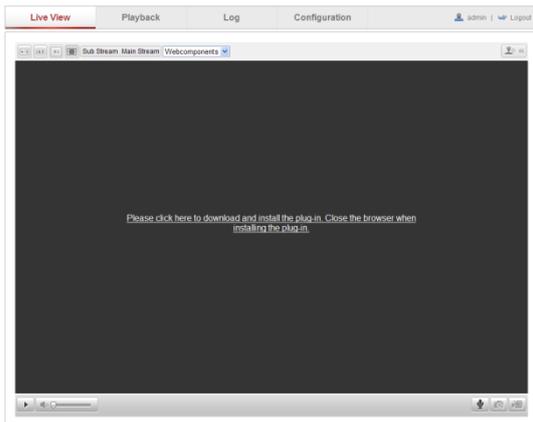


図 4-2 プラグインのダウンロード

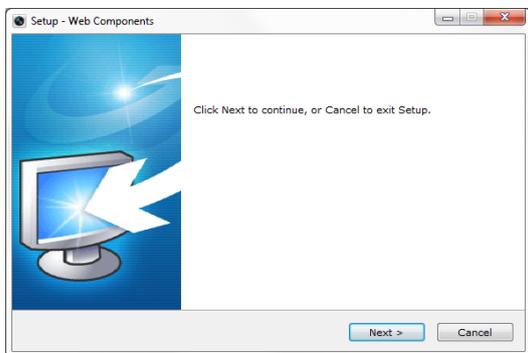


図 4-3 プラグインのインストール

6. プラグインをインストールした後で Web ブラウザを再起動し、上記 2-4 の手順を繰り返してログインします。



注記

その他の設定の詳細についてはネットワーク測位システムのユーザー マニュアルを参照してください。

First Choice for Security Professionals